

## 平成30年度事業報告

### 1 法人の経営体制について

社会福祉法人制度改革を受け改組された新たな経営体制による法人運営は、2か年度目となり、当法人の基本理念であります「利用者の立場に立った良質な福祉サービスの提供」と「地域住民との交流・連携を図り開かれた法人運営」に努めてまいりました。

また、中長期計画の初年度として、様々な課題に対しスピード感を持って取り組んでまいりました。

しかしながら、平成30年12月初旬に倉知理事長の急逝により、新たに西村参与が理事長に就任することとなりましたが、前理事長の遺志を受け継ぎ、法人の基本理念、運営方針に沿った事業運営を進めてまいりました。

### 2 中長期計画の推進

2018年度から2022年度までの5年間を計画期間とする中長期計画の初年度として、様々な取組みを実施しました。この計画では、重点取組事項として、①人材の確保と育成、②働きやすい職場づくり、③地域貢献活動の推進を掲げ、法人挙げて取り組んでまいりました。

#### (1) 人材の確保と育成

介護分野における雇用情勢は増々厳しくなっており、新卒及び中途採用による人材の確保は困難さを増しております。このため、就職情報サイトや新聞折り込みチラシ等各種媒体を通じた求人案内、就職フェアや大学等における就職説明会に参加し求職者に対し法人のPRを行ってまいりました。こうした採用活動に際し、各施設の現場職員に「リクルーター」として参加してもらい、求職活動を行う学生等に対しパンフレットだけでは伝わらない現場の生の声を伝えることで、介護の仕事に対するより具体的なイメージを持ってもらい応募に繋げてまいりました。

また、今後の介護人材の確保に当たり、外国人の雇用も視野に入れた取組みが重要であると考え、法人独自の「介護福祉士養成施設奨学金貸付制度」を設置し、介護福祉士養成施設に対し学生への制度の周知を依頼しました。

平成30年度は、専門学校で学んだベトナム人留学生1名を採用しました。

人材育成については、新人を対象とした初任者研修やフォローアップ研修を始め、チューター研修、初任管理者研修などの階層別研修を実施し、職員の経験に応じた育成を行うとともに、各種資格取得に必要な経費補助や勤務として取り扱うことで資格取得を奨励し、職員の資質向上に努めました。

(職員募集)

- ・新聞折り込み広告（中日新聞） 4回

- ・愛知県環状鉄道車内広告 1回
- ・就職、転職フェア出展 32回
- ・施設見学会の実施(随時)
- ・ホームページ、ハローワークを通じた求人

(採用実績)

- ・平成30年度中途採用 53人(正規・嘱託のみ)
- ・平成31年度新卒採用 17人(うち外国人1名)

(階層別研修)

- ・チューター育成研修 5月
- ・初任管理者研修 6~8月
- ・中途採用職員受入研修 9、10月
- ・チューターフォロー研修 1月
- ・新卒採用者入職前研修 3月

(資格取得支援)

- ・介護福祉士資格取得支援講座 4回
- ・介護福祉実務者研修 春日井会場、豊田会場各8回

(その他)

- ・法人事例発表研究発表会 12月、6サークル発表
- ・内定者懇親会 1月

## (2) 働きやすい職場づくり

### ア 職員定着のための取組み

平成29年度に実施した職員満足度調査において満足度の低かった「勤務評定」制度を見直すこととし、新たな「人事評価制度」を構築し平成31年度から実施することとしました。新たな制度は職員の行動及び能力を評価し、直近上司がアドバイスを行うことで部下の人材育成を図ることを目的としています。

また、出産を機に退職する職員も多く、子育てをしながら働く特に女性職員の職場環境を整えるため、春緑苑内に託児所を設置し平成31年度から受け入れることとしました。

### イ ICT及びロボット技術の活用

利用者サービスの質の向上と職員の負担軽減を図るため、各施設のWi-Fi環境を整備し、最新のロボット技術を取り入れた見守り支援ロボット「眠りスキャン」を特別養護老人ホーム(ショートステイ含む)の全床を対象に導入しました。これにより入所者の皆さんの呼吸や心拍などを測定し睡眠状態を把握することで、ケアプランや入所者の生活習慣の改善、スタッフの業務負担軽減につなげることができました。

また、高齢者施設に先行して介護ソフト「ケアカルテ」を導入し、モバイル端末

からも簡単に記録が入力でき、多職種間で記録やスケジュールが情報共有できるため、記録作成などの事務の負担軽減に繋がりました。こうして軽減された時間を利用者へのサービスの質の向上に振り向けることができました。

(眠りスキャンの導入)

- ・全特別養護老人ホーム（ショートステイ含む） 699 床対応（66,055 千円）

(ケアカルテの導入)

- ・平成 30 年度導入事業所 20 事業所（68,904 千円）※導入済み事業所 9 事業所

### (3) 地域貢献活動の推進

大府市が進める地域住民のふれあいの場づくりに協力し、平成 30 年 10 月に NPO 法人と共同で大府の郷の東屋を活用した常設のふれあいサロン「長草横丁」を開設しました。閉じこもりがちな高齢者が気軽に立ち寄れる「居場所」を提供することで、人とふれあい孤独や不安を解消するとともに様々な活動に参加することで、生きがいをもち、いつまでも若々しくいられる場として活用が期待されています。

#### 【中長期計画 2018 年度各事業所における主な事業の進捗状況】

実施事項	進捗率 (%)	取組内容
<b>【各事業所共通】</b>		
ICT 活用による業務の効率化 (特別養護老人ホーム、ショートステイ、グループホーム)	100	「眠りスキャン」の導入による入所者の睡眠効率の改善や職員の精神的、身体的負担の軽減
職員のスキルアップ	参加目標に対し 50~100	介護福祉士実務者研修等の内外研修に参加 介護福祉士等各種資格の取得 喀痰吸引技能取得者の拡充
ワークライフバランスの推進	取得目標に対し 80~90	年休の取得目標を設定し、年休取得を推進
<b>【とよた苑・東山デイサービスセンター】</b>		
認知症対応の機能強化 (デイサービス)	80	認知症実践者及び管理者研修に参加 事例検討会の実施
<b>【第 2 とよた苑・保見の里】</b>		
地域との連携強化	100	施設説明会及び足湯を活用した地域交流の実施 (3 月)
ボランティアの確保	90	ボランティア 7 団体、個人 13 名を新規登録
<b>【大府の郷】</b>		
地域との連携強化	50	10 月に開設された「長草横丁」を拠点に地域の高齢者との交流推進
<b>【春日苑・ワーカー鷹来】</b>		
日中活動の多様化支援 (障害者支援施設)	100	ワーカー鷹来始め外部 5 施設を 10 名が利用

設備の導入、更新 〈障害者支援施設〉	100	移乗サポートロボット「ハグ」2台導入、低床ベッド29台・超低床ベッド4台の更新、ミストシャワー浴槽の設置
パン製造事業の見直し 〈就労継続支援〉	80	パン事業における職員体制、製造時間、販売先の見直しを実施
【サンホーム豊田】		
強度行動障害者に対する支援	100	強度行動障害支援者養成研修受講4名 スヌーズレン等の支援環境の整備
設備の更新	70	低床ベッド6台、全マットレスの更新
【さくら保育園】		
保護者の満足度向上	90	各行事開催時及び年度末にアンケート調査を実施
防犯対策の強化	100	非常通報装置の設置 テラス・駐車場にLEDライトを設置

### 3 事業運営状況

当法人が実施するサービス事業は、「平成30年度運営施設（事業）一覧」（8頁）の通り、春日井市、豊田市及び大府市において、59のサービス事業（会計区分）を実施しました。

介護保険事業につきましては、特別養護老人ホームの全体の平均稼働率は98.3%とほぼ昨年度並みの稼働率となりました。収入につきましては、報酬改定の影響もあり、対前年度比102.3%と増収となりました。

一方、デイサービスセンターにつきましては、味美デイサービスセンターの閉鎖や介護予防・日常生活支援総合事業の実施などに伴い、対前年度比93.3%と減収となりました。ヘルパーステーションにつきましても同様に、総合事業の実施に伴い特に春日井地区において大幅な減収となり、対前年度比92.5%となりました。

障害福祉サービス事業、保育事業につきましては、ほぼ前年度並みの事業収入となりました。

費用につきましては、法人全体の正規職員比率の増などにより人件費が増加し、対前年度比103.7%となりました。

また、「働きやすい職場づくり」の推進のため、見守り支援ロボット「眠りスキャン」や介護ソフト「ケアカルテ」の導入、Wi-Fi環境の整備など積極的な設備投資を行ったことや、さらに、独立行政法人福祉医療機構への借入金の繰り上げ償還に伴う弁済補償金の支払いなどもあり、サービス活動増減差額が対前年度比21.0%と大幅な減益となりました。

#### 4 主な事業の実施状況

平成 30 年度中に行った主な事業の実施状況及び新規・廃止事業は以下の通りです。

##### (大規模修繕工事の実施)

- ・とよた苑において、豪雨による浸水被害が発生したため、抜本的な雨水排水工事を実施しました。(20,628 千円)

##### (大型設備の更新及び導入)

- ・第 2 春緑苑において、落雷による通信基盤の破損により、通信基盤の更新と合わせナースコールの設備更新を行いました。(10,206 千円)
- ・春緑苑短期入所施設及びケアハウス春緑苑のナースコールの設備更新を行いました。(16,848 千円)
- ・春日苑にミストシャワー浴槽を設置しました。(4,018 千円)

##### (味美デイサービスセンターの廃止)

春日井市から事業移管され平成 22 年 4 月 1 日から事業運営を行ってまいりましたが、大型設備の老朽化と利用者の低迷などにより 9 月末を以って事業廃止し、デイサービス事業は第 2 春緑苑に統合しました。

##### (春日井市地域包括支援センターの再編)

春日井市内の地域包括支援センターが 30 年 4 月から中学校単位を基本に担当区域の再編がなされ、本法人では、「春日井市地域包括支援センター高森台・石尾台」、「春日井市地域包括センター中部」として事業運営を行ってまいりました。

##### (障害者特定相談支援事業の開設)

春日井市からの要請を受け、30 年 4 月から春日苑障がい者生活支援センターにおいて特定相談支援事業を行いました。

##### (養護老人ホーム「若草苑」の建替え)

築 39 年となる養護老人ホーム若草苑は、老朽化が目立ち毎年のように修繕を繰り返す状況となり、施設更新に向け豊田市と協議を進めており、施設更新に際し、現在の機能に付加する機能・サービスについて検討を進めてまいりました。

#### 5 理事会・評議員会の開催状況

##### (1) 理事会

ア 第 226 回理事会 (平成 30 年 6 月 8 日開催)

##### 【決議事項】

- ・平成 29 会計年度事業報告及び計算書類等の承認について
- ・社会福祉充実計画の変更について
- ・平成 30 年度補正予算について
- ・諸規定の改正について
- ・定時評議員会の招集について

**【報告事項】**

- ・ 中長期計画（2018年度～2022年度）について

イ 第227回理事会（平成30年12月3日開催）

**【報告事項】**

- ・ 理事の就任について
- ・ 職務執行状況の報告について

**【決議事項】**

- ・ 平成30年度補正予算について
- ・ 定款変更について
- ・ 理事長の選定について
- ・ 特別功労金の支給について
- ・ 評議員会の招集について

ウ 第228回理事会（平成31年3月12日開催）

**【審議事項】**

- ・ 2018年度第3次補正予算について
- ・ 理事の就任について
- ・ 常務理事の選定について
- ・ 内部管理体制の基本方針の改正について
- ・ 諸規定の改正について
- ・ 2019年度事業計画について
- ・ 2019年度当初予算について
- ・ 資金運用責任者の選任について
- ・ 2019年度資金運用計画について
- ・ 役員賠償責任保険の加入について
- ・ 施設長等の任免について

**【報告事項】**

- ・ 2019年3月新規学校卒業者の内定状況について

(2) 評議員会

ア 第69回評議員会（平成30年6月26日開催）

**【報告事項】**

- ・ 平成29会計年度事業報告及び計算書類等について
- ・ 中長期計画（2018年度～2022年度）について

**【決議事項】**

- ・ 社会福祉充実計画の変更について

イ 第70回評議員会（平成30年12月10日開催）

**【報告事項】**

- ・ 理事長の就任について
- ・ 理事の就任について

**【審議事項】**

- ・ 定款変更について
- ・ 特別功労金の支給について